

< あなたの治療について >


消・外-Pmab/m6-大腸-q2w

今回の治療は、Pmab/m6 という治療法で、ベクティビックス (Pmab)、レボホリナート (ILV)、エルプラット (L-OHP) と 5FU という4種類注射薬を併用して行います。ベクティビックス、エルプラット、5FU は共に腫瘍の増殖を抑えるお薬で、レボホリナートは5FU の効果を増強させるお薬です。4つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

治療全体の流れ

今回の化学療法は2週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を2週間(14日間)ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~14日目
	グラニセトロン (吐き気止め) デキサート (アレルギー・予防・吐き気止め)	点滴 約15分		お休み
	ベクティビックス (抗がん剤) 6mg/kg	点滴 約1時間		
	生理食塩液 (電解質)	点滴 初回 約1時間 2回目から 全開		
	エルプラット (抗がん剤) 85mg/m ²	点滴 約2時間		
	レボホリナート (抗がん剤) 200mg/m ²	点滴 (エルプラットと同時に) 約2時間		
	5-FU (抗がん剤) 400mg/m ²	点滴 約5分(全開で)		
	5-FU (抗がん剤) 2400mg/m ²	点滴 約46時間		

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、体を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について (頻度20%以上)

ベクティビックス・レボホリナート・エルプラット・5-FUについて

白血球減少、好中球減少、ヘモグロビン減少、血小板減少 低マグネシウム血症 AST (GO

T) 上昇、ALT (GPT) 上昇、ALP 上昇 悪心、嘔吐、食欲不振 下痢 口内炎
末梢神経症状 疲労 注射部位反応 ざ瘡・皮膚乾燥・発疹・掻痒 爪囲炎

* ざ瘡、発疹、皮膚乾燥、そう痒症 爪囲炎などの皮膚障害については、別添の資料を参照して下さい。

特徴的な副作用について

ベクティピックスにおける

infusion reaction

「アナフィラキシー様症状(発疹、発汗、呼吸困難)、血管浮腫(顔・舌・のどが腫れる)、気管支けいれん、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧」などの症状

エルプラットにおける

末梢神経症状、咽頭喉頭感覚異常

手、足、口、のどのまわりのしびれ、痛み、のどがしめつけられるような感覚

* 上記症状は、低温又は冷たいものへの曝露により誘発又は悪化することが知られています。冷たい飲み物や氷の使用を避け、低温時には皮膚を露出しないよう注意して下さい。

過敏症状

発疹、かゆみ、気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下など

5FU における

激しい下痢

重篤な腸炎

「水の様な下痢；2~3日続く下痢；腹痛；トマトジュース様の下痢」などの症状

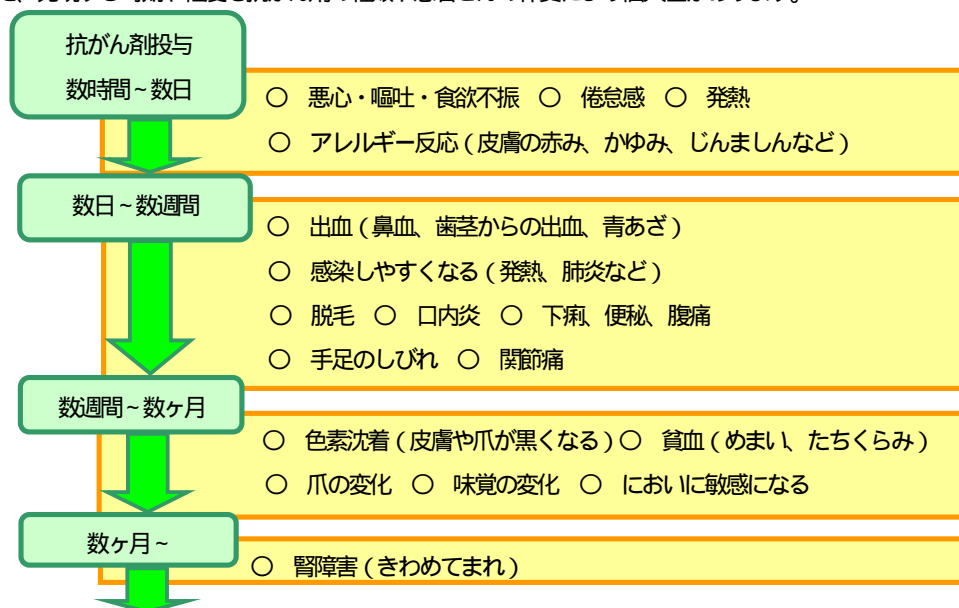
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

副作用の発現時期の目安

* この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ベクティビックス】

<間質性肺疾患>発熱、から咳、呼吸困難、倦怠感

<薬剤注入にともなう反応>アナフィラキシー様症状（発疹、発汗、呼吸困難）、血管浮腫（顔・舌・のどが腫れる）、気管支けいれん、
発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧

<重い皮膚症状>にきびのような発疹や吹き出もの、かゆみ、爪のまわりの炎症、皮膚の乾燥やひび割れ

<激しい下痢>激しい下痢、脱水などの症状やこれに伴う急性腎不全

【レボホリナート】

<下痢>激しい下痢、脱水症状

<腸炎>出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎、激しい腹痛、下痢

<白血球減少>発熱、寒く感じる・ふるえ、喉の痛み

<貧血>疲れやすい、めまい、頭がふらふらする、皮膚や顔が青白い

<血小板減少>原因不明のあざ、歯茎からの出血、鼻血、月経量の増加、血がとまりにくい

<ショック、アナフィラキシー様症状>発疹、蕁麻疹、頻脈、せいでいする

<白質脳症、精神・神経障害>歩行時のふらつき、四肢末端のしびれ感、舌のもつれ

<心不全、心筋梗塞、狭心症>手や足首のむくみ、息切れ、動悸、胸の痛み

<肝機能障害、黄疸>AST、ALT、AL-P、 γ -GTP上昇、黄疸

<急性腎不全>頭痛、尿量の減少、手や足首のむくみ、わき腹の痛み

<間質性肺炎>発熱、空咳、息切れ、呼吸困難

<消化管潰瘍>消化管潰瘍

<口内炎>重篤な口内炎

<手足症候群>手掌、足の紅斑、疼痛性発赤腫脹、知覚過敏

<播種性血管内凝固症候群（DIC）>循環不全による腎機能低下、呼吸不全など、凝固因子・血小板減少や線溶活性化による出血症状（粘膜出血、止血不良、脳出血など）

<嗅覚障害>においがわからない・しない

<高アンモニア血症>眠気、呼びかけに対する反応が悪い、けいれん

<急性肺炎>上腹部の痛み、吐き気、嘔吐

【エルブラット】

<ショック・アナフィラキシー様反応>顔面がそう白になる。胸が苦しい。意識が混濁する。

<過敏症>発しんやかゆみがある。息が苦しい。めまいがする。

<末梢神経症状>持続的に手や足、口のまわりがしびれたり、痛む。のどがしめつけられるような感覚が続く。

<間質性肺炎・肺線維症>から咳がでる。軽い動作や運動時の息切れ。熱がでる。胸が苦しい。

<骨髄機能抑制>寒気がする。発熱。のどの痛み。貧血。めまい。息切れ。出血しやすい。

<溶血性尿毒症症候群>発熱。貧血症状。皮下出血によるあざ。しびれ。むくみ。頭痛。

<視野欠損・視野障害・視神経炎・視力低下>目がかすむ。物の形が見えにくい。

<血栓塞栓症>鋭い胸の痛みがある。足の付け根や足に痛みがある。わきの下や腕に痛みがある。

<心室性不整脈・心筋梗塞>どうき。胸が痛い。めまいがする。ふらふらする。

<肝静脈閉塞症>血を吐く。便が黒い。

【5-FU】

<脱水症状（激しい下痢）>発熱、激しい腹痛、下痢、水様便、血便

<腸炎>発熱、激しい腹痛、下痢、水様便、血便

<白血球減少>発熱、寒く感じる、ふるえ、喉の痛み

<貧血>疲れやすい、めまい、頭がふらふらする、皮膚や顔が青白い
<血小板減少>原因不明のあざ、歯茎からの出血、鼻血、月経量の増加、血がとまりにくい
<ショック、アナフィラキシー様症状>発疹、蕁麻疹、頻脈、せいでいする
<白質脳症>歩行時のふらつき、手足のしびれ、舌のもつれ
<うつ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症>手や足首のむくみ、息切れ、動悸、胸の痛み
<急性腎不全>尿量の変化、手や足首のむくみ
<間質性肺炎>発熱、空咳、息切れ、呼吸困難
<肝機能障害、黄疸、肝不全>倦怠感、食欲不振、右側腰部痛、眠け、皮膚が黄色くなる、白目が黄色味を帯びる
<消化管潰瘍>胸やけ、消化不良、腹部のさしこみ痛、タール状の便
<激しい口内炎>口内のただれ・痛み・出血
<急性肺炎>吐き気、嘔吐、背部痛、上腹部の激痛
<意識障害を伴う高アンモニア血症>眠気、呼びかけに対する反応が悪い、けいれん
<手足症候群>手のひらや足の裏の腫れ・痛み、皮がむける
<味覚障害・脱失>においかわからない・しない

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。